

◎ 奈良・人と自然の会

＜わたしたちは大和の自然を愛します＞

平城山、景観形成活動を考える

小嶺 敏勝



本年4月、当会の幹事会に於いて社会貢献事業の一環に平城山地区の景観形成活動が承認され、順調に動き始めていますが、会員諸氏のより積極的な支援と協力が必要です。この事業は奈良県が古都を保存する為に買入れた土地を歴史的風土の環境を保存すべく、景観形成活動を行うことを、目的に、県と協定を締結したものです。

場所は奈良市佐紀町と奈良坂町にまたがり、大部分が山林及び竹林で一部は田、畑、原野等であるが放置して久しい為、田は面影のみ。一帯は平城山（楢山、奈良山、那羅山、平山）と呼ばれ、佐紀の後背地丘陵からその東にかけて、佐保丘陵一帯の総称を言う。

「日本書紀」崇神紀に軍勢が屯聚して山の草木をふみならした為ナラヤマと国史大字典に有る。又この地は古今集、万葉集にも数多く詠まれています。

丘陵南には、4-5世紀代の大前方後円墳からなる佐紀盾列古墳群がある。

又、平城京まで2キロ強の位置にあり大伴安万侶、長屋王の佐保宅等も近い。

佐保山のははその色はうすけれど秋はみかくもなにいけるかな

「古今集」(秋の歌とてよめる) 坂上是則

註：柞(ははそ)は里山の雑木の類、クヌギ、ナラなどの総称

さそいやく佐保山嶺までしばし柞の紅葉秋みかきころ 伏見院

時は秋、今もクヌギ、コナラの多い里山です。千百年前の同じ風景が見れる気がします。

日本の代表的な森林の1年間に作り出す酸素は、文献によると1haあたり11-23トンになり、この量は40人-80人の人間が呼吸する酸素の量に当たるとのことです。仮に20tとすれば、我々の活動地域7haで490人分の酸素量になります。又、森林が1年間に吸収する二酸化炭素は、1ha当たり15-30tになり、そしてご承知の様に、植物体に炭素が固定され、大気中の二酸化炭素の増加を抑える働きをしています。

今後は、会員相互の親睦のベースフィールドとして長期的な視点で息長く持続可能な運営を目指しています。間伐等の肉体労働だけで有りません。植生調査や自然観察路の設定、その他、種々のアイデアを出し合い、会員の親睦と居場所スペースの一つにしませんか

なうやまプロジェクト・レポート 9月

8月21日(水) 晴 気温 35℃ 参加者 8名(内女性3名)

猛暑日 常連5人が他の行事のため欠席。戦力は不足するが、竹藪整備、花畑の草取りなどのルーチン作業に汗を流す。長期間の日照りで畑地は乾ききっていて、作物の被害が懸念される。数日中に雨がなければ臨時の水遣り作業をする必要があると判断する。(2日後の8月23日より断続的に降雨あり、当面のところは問題解決)

9月6日(木) 曇り時々雨 参加者 13名(内女性3名)

季節は秋へと移る気配で、曇り空にさしもの猛暑も一休み。9時、全員賑やかに作業開始。ベースキャンプの整備(草刈、木製溝蓋の製作)、大根(青首、聖護院)の種まき、コスモス花壇の手入れ、山野草の植え付け、竹藪の間伐……。回を追う毎に仕事の種類が増え、それぞれに楽しみもふえて行く。

今回から畑の畝起こしには、先日貰い受けてきた中古のミニ・テレーラーが大活躍する。老骨の身にとっては辛いシャベル作業から開放されたことは何より有難い。

時折降る俄か雨は、ほど良いお湿り。傍に張ったテントのお蔭で活動には支障はない。コスモス、サツマイモ、ダイコン、枝豆……。皆生気を取り戻している、まさに干天に慈雨! あらためて自然の恵みを実感し、感謝する。

予定した定例作業は午前中で終了。午後は高橋さん林さんを中心に、秋めいてきた里山周辺の植生観察に出かける。終了は午後2時30分

9月18日(火) 薄曇り後晴れ 参加者 10名(内女性1名)

猛暑がぶり返し厳しい1日となる。9時作業開始。

畑地の北側一帯は、果樹園と山野草を楽しむエリアにする計画。今のところ、植えてある山野草は、フジバカマ、キキョウ、オミナエシ、萩、ムラサキシキブなど。この土地にふさわしい果樹や山野草をもっと充実したいと夢が広がる。お手元の苗や株、苗木などご提供いただければ大歓迎です!

畑のダイコン、新芽が半分以上コオロギなどのに食われた。考えてみれば、今までは草地だった所を畑にしたのだから原住民の虫たちの復讐も当然かも。思い直して再度播種する。一方、サツマイモの方はなかなか成績がヨロシイようで、会員の皆様向けの「いもほり大会」を企画しましたので、ふるってご参加下さい。また、この機会に活動フィールドもご視察下されば幸いです(詳細はチラシに記載)。

C地区の竹林の整備事業は、枯竹の排除がほぼ終わり、間伐を軌道に乗せる段階となる。10月以降のシーズンにピッチを上げれば年内にはすっきりした竹林に生まれ変わる予定。来春の筈狩りも楽しみの一つになりそうである。

(古川 祐司 記)

社会貢献事業報告 『夏休み子供教室』

8月19日（日）に奈良市都祁、花はなビレッジに於いて「夏休み子供教室」が、奈良・人と自然の会、ならコープ共催で開催された。

今年は主催が、奈良市、きやんす家、に奈良県も加わり予約制で120組の応募の中から20組60名の、親子ずれが参加した。

今回はバンブーアートとウグイス笛、たけきり体験を提供した。バームクーヘン作りの、合間を利用しての工作でしたが、大変な暑さにも負けず子供も親も、何れのコーナーも、大変な盛況で、全体の人数制限のためスタッフも子供達と対話しながらの工作ができた。

猛暑の中、参加スタッフの皆様、お疲れさまでした

参加者：樋口、境、豊島、斎藤、林、岩田利、吉村、阿部、小嶺

(小嶺敏勝)

ミニミニ自然教室

境 寛

この夏にボーイスカウトの夏季キャンプに琵琶湖へ行きました。昼食を終えてひと休みしていると、目の前にヤマモミジが種をつけていました。ビーバー隊・カブ隊（小学1～4年生）の子供たちが、竹とんぼ状の種を珍しそうに眺めていましたが、種を飛ばして見せると、ヘリコプターみたいだと大喜びです。その内に3枚羽根の種が幾つか見つかりました。今までにも三枚羽根はいくつか見たことはありますが、とんでもない7枚の羽根の種を見つけました。これには私も子供たちと一緒に驚きました。子供たちとこの驚きを共感できた楽しいひと時でした。まさにインタープリテーションを実感したひと時でした。

2枚羽根



3枚羽根



7枚羽根



2007年オプショナル企画「木津川と布目川ゑ穴郡を巡る」

実施日：9月10日（月） 天候：小雨午後曇り 気温：30度じめじめと蒸し暑し
参加者：14名（吉村、齋藤、福谷、守口、林、野田、松浦、川井、高橋、平塚、弓場、勝田、大石、ピジター横井 女性8名男性6名）

担当：弓場、勝田、大石

前日お昼過ぎより大河原の先、伊賀地方で大雨あり、関西線が不通となって心配されたが、小雨けふる中スタート。濁った木津川に架かる沈下橋（下見時は完全に水没していた；四国四万十川に行かなくともここで体験可能）を渡り左岸の東海自然歩道へ。村はずれの恋志谷神社を参拝。大きめの平たい丸石が敷き詰められ、誰いうとなく、「いやしろ地」か。清々しい気分。雨もまた良し、車もなく、近くの山、遠望される嶺峰、川のたたずまい、雨にぬれた木々や花や葉、珍しき植物も高橋さんの解説で勉強できた。続く布目川のゑ穴には、気の遠くなるような時間と雄大なる自然に感嘆。木津川の合流点から線路をまたぎ、一路ハートQの場へ。今回初めての企画で、食べきれないと思われるも、あつという間にビールとともに平らげる。その後名ナレーターの野田さんの朗読で、笠置山・笠置寺物語のお話。ご当地は華やかなる歴史の場であった。役行者、空海の千手窟への詣、実忠和尚（お水取りの原点を修得）、清少納言、藤原道長、源義経、重源、解脱上人、太平記などを時代背景とともに解説。中でも圧巻は後醍醐天皇に関わる部分。元弘の役から、東大寺と興福寺のにらみ合い、楠正成の出陣、北条勢との攻めあい、隠岐へ流される、足利尊氏との反目、南北朝時代の始まりなどなど説明される。最後は当山、当寺で亡くなった多くの御霊に皆、心の中で合掌し、文部省唱歌「青葉茂れる桜井の」「児島高德」を合唱し終えた。

（大石 門三）

自然俳句欄

かわら
さんざめく磧のうたげ夏惜しむ 川井 秀夫

九月例会。大自然の悪戯か、布目川のゑ穴群。悠久の流れ、木津河原の宴。
時空を超えて、ゆったりした空間を楽しむ。秋の訪れが近い。



我はれっきとしたワシタカの仲間「トビ」

小田 久美子

奈良時代『日本書紀』では神武東征に一役買った金のトビは靈力を発揮したすばらしい鳥でした。平安時代の『今昔物語』の中では観音さまや天狗の化身として活躍し尊敬の対象でした。でも術が破れて死ぬと翼の折れたクソトビの姿になるとされていました。室町から江戸時代にかけて「劫を経た山伏はトビに成りあがる」という俗説があり、修行を積み年功を重ねれば山伏もトビになれるのでした。

狂言「柿山伏」ではトビになったつもりの山伏が「ヒヨヨヒヨヒヨヒヨヒヨ」と鳴き、江戸時代になると、全国の山々に住む天狗が勢揃いしている『天狗そろへ』という子供向けの絵本が出ます。その天狗の多くがうろこ状の翼を持ち、鼻もトビのくちばし状のものが付いている天狗が見えます。

「カラス天狗」ということばは近年になってあらわれる言葉で、カラスのくちばしは絵のように鉤状ではありません。もう一方で清少納言には「トビはカラスとともに、その姿を鑑賞したり、鳴き声に聞き耳をたてたりする人はこの世にいない」ときき下ろされ、トビを軽蔑する気持ちが脈々と続いています。あなたの「トビ」観は如何？



★【葛城より】 近くの湿地の中の草の根に、枯れ草等を集めて蹲るバン(ツル目クイナ科)の巣を教えてもらった。つがいで営巣している。初めて対面したバンに感動しました。

顔の正面(額板)が赤く、ドバトより少し小さく、大変警戒心が強い。あまり姿をみせないのが特徴とのこと。どうか無事で、いつまでも當麻の里にいてほしい。(岩田)

★9月8日平群12月例会「古代豪族平群氏の郷へ」の下見で平群谷の方へ足を延ばした、時“星の尾墓地”の建物のひさしにコシアカツバメのとっくり型の巣が6・7個ありましたみんななぜか真ん中辺りが壊されていました。(勝田)

★・8月28日御所の畑のスモモの葉が茶色っぽくなっていたのでよくみたらゾオ〜とする程毛虫がいっぱい! 割箸で一匹一匹ととつたらなんと1時間半で801匹。掃ってから調べたらモンクロシャチホコという毛虫。なるほどしゃちほこのように頭としっぽをそらせています。うまい名前がついているものと感心。

・1週間ほど前カブの種蒔き中 蒔いたそばからアリがせつせつとその種を運んで行くのを見てどこまで行くのかしばらくジ〜とアリと種の行方を追っていたら なんと健康で思わずガンバレ!と声をかけていました。その結果…見事に一粒も芽は出ませんでした! 余談 (齋藤)



原則 前日の午後7時前のNHK天気予報で降水確率(午前)60%以上の場合は中止

【奈良忍辱山森林整備作業】



- (場 所) 奈良市忍辱町 国有林 東海自然歩道沿いの二次林です。
(忍辱山円成寺駐車場) より徒歩 10分
- (集合場所) 国道 369 号線 忍辱山円成寺駐車場
(奈良交通バス停 円成寺口と忍辱山円成寺の間)
- (日 時) 10月 18日(木)
【集合時間 10.30 より、終了予定 Pm3:00 ころ】
- (天 候) NHK天気予報 (前日 PM7時前) 60%以上中止します。
- (交 通) 奈良交通バス 近鉄奈良駅前バス乗り場④番 9:40 柳生・月ヶ瀬温泉行き
- (持ち物) 作業のできる服装、昼食、飲み物、手袋、
ヘルメット、のこぎり、防護メガネなどの用具は、準備していますが、
お手持ちのものあれば持参ください。
- ご参加お待ちしております!!**
- (連絡先) 弓場厚次 | 明石嘉一郎
阿部和生

作業報告…9月13日 参加6名。 管理事務所の 大谷調整官も参加され7名で作業、
9月末を目途としていた「東海自然歩道」沿いの整備を行った。

10月からの取り組みについて

植物＝樹木は、太陽エネルギーを使って 有機物を生成する唯一のものであり、また地球温暖化防止の担い手でもあります。その公益的機能として働きは、広く認識されています。これまで続けてきた「健康な森林づくり」を10月からは、「月1回」に変更しますが、さらに6ヶ月継続しようと思案しました。小さな活動ではありますが、大きな広がりの一助となるよう願っています。継続にあたり「皆様のご協力ご参加」くださいますようお願いいたします。捨てられたごみの収集、小枝の処理、さまざまなご自分にあつた活動でのご参加を願っています。(阿部)

『ならやま里山林プロジェクト10月の予定』

場所 奈良市奈良坂町・佐紀町の県有林 (JR 平城山駅下車徒歩10分)

—「ならやま会館」前の道路(ならやま大通り)の南側に広がる林地—

定例活動

日時 10月6日(土)、24日(水) 10時集合、終了予定 3時

【雨天等による中止の場合 予備日 10月31日(水)】

集合 現地ベースキャンプ地 マイカー7~8台の駐車可

交通 ①近鉄奈良駅 バス13乗場9:36発 高の原行

②近鉄高の原駅 バス1番乗場9:38発 JR奈良行

①、②とも佐保台西口、または平城大橋下車 徒歩約7分 チラシ地図参照

特別行事

・会員対象「いもほり大会」 10月14日(日)・・・(チラシご参照)

・小学生対象「秋の自然観察、いもほり、パンプーアート」 11月3日(土)

花畑作り募集

ここの景観にふさわしい花畑を作りたいと思っています。やりたい方を募集します。また、ここに適した山野草類を育てたいと思っています。アイデアや苗をご提供下さい。また果樹の苗などもご提供いただければ幸いです

(問合せ先 古川

小嶺

「いもほり大会」 無料! 要参加申し込み!

[日時] 10月14日(日) 10時集合

[場所] ならやま里山林 B地区

★ 詳細はチラシをご覧ください



10月例会「近つ飛鳥と叡福寺を訪ねる」

竹之内街道と磯長谷五陵を巡る歴史と自然に触れる

竹之内街道は古代の丹比道(たじひみち)で、難波より京にいたる日本最古の官道でした。この道沿いに羽曳野市から太子町に至る二上山の西側一帯が「近つ飛鳥」で蘇我氏の根拠地でした。

仏教が渡来した欽明天皇(西暦572年の死去)の時代から、大化の改新(645年)までの約80年間は、日本が部族国家から天皇中心の統一国家へと変貌する歴史の過程です。この時期、蘇我・物部氏の抗争を制した蘇我一族が天皇家の外戚として専横を極める中、その力を利用しながら次第に天皇中心の政治への流れを創った推古天皇、聖徳太子、一方、自分の血に繋がる歴代天皇の陵墓を自分の根拠地に置くことで天皇家との永劫の結びつきを誇示した蘇我氏など、往時の歴史を紐解きながら、自然の風土と古代の歴史ロマンに想いを膨らませてみたいと思います。

今回は、特に太子町教育委員会 生涯学習課 鍋島隆宏氏に史跡ガイドをお願いしています。どうぞご期待下さい。

[日 時] 10月16日(火) 9:30~16:30

[集 合] 近鉄上ノ太子駅南口 9:30 集合

[交 通] 大和西大寺8:22発急行→橿原神宮前(乗換)8:55発(阿倍野橋行 普通→上ノ太子9:24着

阿倍野橋8:54発(橿原神宮前行 準急)→上ノ太子9:23着

[コース] (出発) 上ノ太子駅南口→御嶺山古墳→敏達天皇磯長中尾陵→葉室公園(昼食)
→推古天皇磯長山田陵→科長神社・小野妹子墓→竹之内街道資料館→孝徳天皇陵→用明天皇磯長原陵→伝・蘇我馬子墓→叡福寺・聖徳太子磯長墓→太子前バス停で解散(16:30予定)

行程は約8キロ、なだらかな起伏の路で、どなたでも気軽に参加できます。

[持ち物] 弁当、飲み物、雨具、観察用具

[担 当] 古川 祐司

岩田 利秋

10月度例会「海住山寺と古の都、恭仁京を訪ねて」(再開催)

時代を遡り、明治の時代に造られた農業用水路、そしてもっと古い聖武天皇時代の遺構などを偲びながら、古都を散策しませんか。なお当日は加茂祭り開催中であり、人出は多いかと思われます。また海住山寺では国宝の五重塔が開扉されています。

日時：10月27日(土) 集合時間：10:10 解散 15:00頃 場所：JR加茂

持物：弁当、水筒、観察用具など

交通：JR 大阪 9:03~天王寺 9:17~王寺 9:35~奈良 9:50~木津 10:02~加茂 10:08

近鉄西大寺 9:13 (京都急行) ~新祝園 9:27 (乗換) JR 祝園 9:38 ~ JR 木津 9:44

行程：JR 加茂~大井出用水路(デレーケ堰堤)~海住山寺~恭仁京~JR 加茂(約6km)

担当：大石

林：

守口

天候：前日午後7時前の天気予報で京都府南部の降水確率が60%以上の時は中止。

<11月の予定>

11月例会「晩秋の奥飛鳥」～晩秋の万葉の原風景を訪ねます～

日程：11月10日(土)

集合場所・時間：飛鳥駅9時30分

担当：豊島 川井

* 詳細は11月号でお知らせします。

2007年度 Optional企画 「世界遺産：熊野古道を訪ねる・中辺路コース」

平安、鎌倉時代の貴族たちは、護衛の武士や女官など数百人のお供を従えて熊野三山を目指したと言われます。その後、庶民の熊野詣が盛んになり、京都から熊野への熊野街道は旅人の切れ目が無く「蟻の熊野詣」と喻えられました。街道の途中には大阪から熊野に至るまで休憩の場として王子社と言われる神社が数多く、九十九王子と呼ばれて賑わいました。

今回 中辺路の代表的な景観と楽々歩行の出来る区間を二日間巡拝し、川湯温泉の仙人風呂を楽しみます。熊野詣の蟻さんに成った積りで気楽にご参加ください。

記

- <日 時> : 11月19日(月)～20日(火) [一泊2日研修]
<集 合> : 近鉄大和八木駅 南口 午前8時30分(時間厳守)
<宿 泊> : 奥熊野 川湯温泉 『川湯みどりや』 Tel: 0735 (42) 1011
<交 通> : ・大和西大寺[橿原神宮前行急行] 7:57...大和八木8:18
 ・上本町[青山町行急行] 7:53...鶴橋7:55...大和八木8:26
<行 程> : (バス) 南阪奈道路～阪和自動車道～湯浅御坊道～国道311～「中辺路」
11月19日(月) 近鉄八木～(紀ノ川S・A)～中辺路・熊野古道館～野中一方杉BS ...
 継桜王子...中ノ河王子...小広王子...小広峠BS ～ 川湯温泉・「川湯みどりや」
 (歩行: 5.0km 1:40)
11月20日(火) 川湯温泉・「川湯みどりや」～
 発心門王子...水呑王子...伏拝王子...祓所王子...熊野本宮大社 ... (昼食) ...
 (バス) 国道168～十津川～五条～近鉄八木 (歩行: 7.0km 2:30)
<持参物> : 雨具 弁当 飲物 観察用具 仙人風呂用・水着
<費 用> : 21,000円 (宿泊費、交通費等)
参加申込 : 30名限定 ! 弓場厚次 宛にFAXで
<担 当>

* 既に申込みが始まり、残りの席も少なくなりました。お早めの申込みをお待ちいたしております。

<12月の予定> (一部)

12月度例会「古代豪族平群氏の里へ」

～業平ロマンの道、悲劇の長屋の王墓を訪ねる～

日 時： 12月10日(月) 午前9時30分

集合場所：近鉄生駒線 竜田川駅前

* 例会の後、【忘年会】があるため、**予約が要ります**

担 当： 小嶺 勝田

* 詳細は次号でお知らせします。

ふるって
ご参加ください

協力活動 「いこま棚田クラブ」活動ご案内

[10月の取り組み]

作業日…10月7日(日)、15日(月)、21日(日)、29日(月)。

稲の脱穀ともみすり…10月初旬の予定

特別行事…10月20日【土】朝日親子ネイチャー教室、70名

集合場所…近鉄生駒駅下車(鶴橋駅より快速15分)南口側ケーブル鳥居口駅西隣

セブンイレブン前 9:00集合(現地まで車で移動約15分)

◇ 持ち物…弁当、飲み物、観察用品、軍手、長靴、(作業のできる服装でお越してください)

◇ 連絡先…事務局 大寺道代

平成19年9月度幹事会議事録

日時 9月6日(木) PM5:30~8:30

場所:奈良県女性センター

出席者:13名

司会:小田 書記:明石

【報告事項】

(1) 会員数:93名 現金残高 185,806円

(2) 奈良・忍辱山森林整備作業

8/29(水)雨で作業取り止めの為、8月は8/2(木)1回のみ。

(3) ならやま里山林プロジェクト

・8/21(火)—8名 9/6(木)—13名 植生調査、ダイコン種蒔(耕耘機活躍)、草刈、雨になり作業打ち切り。

(4) 花はなビレッジ「夏休み子供教室」

8/19(日)—9名当会より出席。当日参加者総勢親子60名 バンプアート作りに熱中。

(5) 「くろかみやま自然塾」

8/26(日)—8名当会より出席。参加者総勢59名 竹笛・ダイコンてっぽう・セミ丸くんを作る。

(6) 「いこま棚田クラブ」

8月定例活動4回。他8/26(日)地元との交流会(バーベキュー)。クラブ25名、地元10名今まで以上に理解深まってきた様子。胸襟を開いた話し合い行われる。

【確認事項】

(1) 10月~11月定例行事の確認

・10/16(火)、「近つ飛鳥と叡福寺を訪ねて」

・10/27(土)「海住山寺と古の都、恭仁京を訪ねて」(7月例会中止分)

・11/10(土)晩秋の奥飛鳥

(2) その他

・10/27(土)環境フェア 橿原 10:00~16:00

・11/18(日)奈良市農林課より木工教室参加依頼あり。

編集担当:勝田 均

TEL&FA]

【当会の行事における傷害事故等については個人負担とし、当会は賠償等一切の責任は負いません】

奈良・人と自然の会事務所

会長 川井 秀夫